

「郷土を愛し、未来を創る人づくり」のための
自己点検・評価報告書

平成29年3月

御前崎市牧之原市学校組合教育委員会

〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	はじめに	1
1	趣旨	2
2	点検・評価の対象	2
3	点検・評価の方法	2
4	点検・評価結果の構成	2
II	教育委員会の職務・事業内容	3
1	教育委員会の活動	3
2	教育委員会が管理・執行する事務	4
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	5
	施策 これからの社会を生き抜くための資質	
	・能力の育成を図る学校教育	5
III	御前崎市牧之原市学校組合教育委員会の自己点検及び評価	6
	大項目1 教育委員会の活動	6
	大項目2 教育委員会が管理・執行する事務	8
	大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	9
IV	学識経験者の意見	12
V	総合評価	12
	「スクラム」についてのアンケート調査結果	参考資料

I はじめに

御前崎市牧之原市学校組合教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、施設管理者である御前崎市の第2次御前崎市総合計画の基本目標「郷土を愛し、未来を創る 人づくり」に基づき、毎年度発行している「スクラム御前崎」の中で、教育の基本目標と主要施策を明確に示すとともに、施策の実現に努めてまいりました。

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「地方教育行政法」という。）が改正され、この改正の大きな柱の一つである「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、同法第26条により、教育行政の効果的推進及び市民への説明責任を果たすべく、「教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行う」ことが義務付けられたところであります。

このことを受けて教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して組合議会に提出するとともに、市民への公表を行ってまいりました。

本報告書は、平成28年度教育委員会の活動及び「スクラム御前崎」で示した主要7項目の実現のための24施策について点検及び評価を行い、その客観性を確保するため、学識経験者4名から所見をいただくとともに、第三者的立場から静岡大学教育学部教授の山崎保寿氏にも外部評価をしていただき、ここに報告書として取りまとめたものであります。

市民の感覚、視点を持って点検・評価を行うことは、今日の課題や今後の取組方針が明確になる点において、大変意義のあるものと思います。

今後も「郷土を愛し、未来をつくる市民の育成」を基本目標として、園、学校、地域、行政がスクラムを組み、それぞれの施策を推進してまいる所存であります。

平成29年3月

御前崎市牧之原市学校組合教育委員会委員長 吉村 勝

1. 趣 旨

教育委員会は、地方教育行政法第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、政策効果を把握し、その必要性・効率性等の観点から、自ら点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、この点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、組合議会に提出するとともに一般に公表することにより、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものです。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成28年度における教育委員会の職務内容や主要な施策・事業を対象として実施いたしました。

3. 点検・評価の方法

点検及び評価の実施にあたっては、平成28年度の事業について、その進捗状況を総括するとともに、内部評価を行うことにより課題や今後の取組の方向性を明らかにし、その結果を外部評価として、元小学校長 澤入 眞佐義 氏、元幼稚園長 増田 喜巳子 氏、前教育委員 沖 千鶴 氏、元中学校長 杉浦 尚志 氏のご意見や、静岡大学教育学部教授 山崎 保寿 氏に総合評価を頂くことにより、教育に関する学識経験者の知見活用に努めました。

4. 点検・評価結果の構成

点検・評価結果については、「御前崎市牧之原市学校組合教育委員会の自己点検・評価シート」で表しました

自己点検・評価シートは、教育委員会の職務、事業内容及び事業体系を大きく3つの大項目に区分した構成となっています。

① 大項目1「教育委員会の活動」

教育委員会という組織の自らの行動、すなわち教育委員が自ら行う行為・活動を中心に、6つの中項目に分け、点検事項として教育委員会会議の開催回数、運営、広報・公聴、研修会など小項目を設け、点検・評価の対象としました。

なお、「スクラム御前崎」で掲げられた具体的施策のうち、「(1)スクラムプランで推進する教育委員会」については、この大項目内の項目に含むものとして評価を行いました。

② 大項目2「教育委員会が管理・執行する事務」

地方教育行政法及び御前崎市牧之原市学校組合教育委員会の権限の一部を教育長に委任する規則の定めるところにより、教育委員会の権限のうち教育

長に委任せず教育委員会が合議によって定め実施する事項となります。これについて、教育委員会が自ら管理・執行する事務として区分し、14の中項目に分けて構成いたしました。

この大項目内の各項目については、各事業実施年度において、教育委員会が計画し実施する性質のものではなく、事象が発生したときに法律等により実施義務が生じるものであります。従って事業実施年度における事象の発生件数とその事象への対応状況の点検を行いました。

③ 大項目3「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

教育委員会の職務及び事業から①及び②に掲げた事項を除いた部分について、管理・執行を教育長に委任して行う事務としてまとめることといたしました。この部分については、「スクラム御前崎」に掲げられた具体的施策の「学校教育」の項目について評価を行いました。

II 教育委員会の職務・事業内容

自己点検・評価についての報告書をまとめるに当たっては、まずその対象となる教育委員会の権限に属する事務について、その概要の説明が必要となることから、教育委員会の職務・事業内容及び事業体系について記述し、その後、点検及び評価の対象年度における主要な事業について記述することといたします。

教育委員会の職務・事業内容及び事業体系については、既に「点検・評価結果の構成」において記述したとおり、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」と大きく3項目に区分して表すことにいたしました。

以下、それぞれの大項目について示します。

1. 教育委員会の活動

(1) 教育委員会とは

教育委員会は、地方教育行政法の定めるところにより、学校その他教育機関の設置、管理その他の教育事務を執行することを職務権限とする行政委員会であり、5人の委員をもって組織される合議体の執行機関です。

(2) 教育委員会の構成

教育委員会の構成は、次のとおりです。

ア 委員・・・委員は、御前崎市長又は牧之原市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものの中から、管理者が、組合議会の同意を得て任命します。任期は4年で非常勤です。

イ 委員長・・・委員長は、教育長を除く委員の中から1名が互選により選ばれます(任期1年。再任可)。委員長は、教育委員会の会議を招集・主宰し、教

育委員会を代表する者とされます。

ウ 教育長・・・教育長は、委員長を除く委員の中から、教育委員会によって任命されます。教育長は、常勤で、教育委員会の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督します。

(3) 御前崎市牧之原市学校組合教育委員会委員の名簿

(平成29年3月現在)

役職名	氏名	任期
委員長	吉村 勝	平成27年 1月17日～平成31年 1月16日
委員	本目 武彦	平成28年 1月17日～平成32年 1月16日
委員	原崎 志保	平成26年 1月17日～平成30年 1月16日
委員	下村 勝	平成29年 1月17日～平成33年 1月16日
教育長	篠田 暁美	平成25年 7月 1日～平成29年 6月30日

2. 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会の職務権限は、地方教育行政法第21条にその職務権限が定められていますが、その職務権限に係るもののうち、以下のものについては、同法第25条第2項により教育長に委任することができず、直接、教育委員会が行うこととされています。

- (1) 学校教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。
- (4) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (5) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定めること及び懲戒を行うこと。
- (6) 県費負担教職員以外の校長、公民館長及び図書館長の任免を行うこと。
- (7) 教育長並びに教育委員会事務局職員の任免を行うこと。
- (8) 学校の敷地を選定すること。
- (9) 教育委員会規則等の制定又は改廃について審議すること。
- (10) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。
- (11) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。

- (12) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
 - (13) 教科用図書の採択に関すること。
 - (14) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこと。
- 以上を、教育委員会が自ら行う事務として整理いたしました。

3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

この事務は、「スクラム御前崎」で示している平成28年度の具体的施策のうち、その管理、執行が教育長に委任されている事業は次のとおりです。

施策 これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育

学校教育の中で児童生徒に身につけさせなくてはならないのは「これからの社会を生き抜いていくための資質・能力」です。『資質・能力』とは、「基礎基本の知識・技能」「思考力・創造力」「主体的に人・社会とかかわる力」のことです。

学校教育課は、「スクラム・スクール・プラン」を推進し、学校が児童・生徒に『資質・能力』を身につけさせる教育の営みを多角的に支えています。

(1) これからの時代に必要な資質・能力の育成を図ります

『資質・能力』の育成を図るために、園・小学校・中学校・高校の教職員がスクラム・スクール・プランを通して、子ども親や教育親を共有し「とぎれない教育」の実現を目指します。

(2) 心と体づくりを推進します

豊かな心と思いやりのある心を育てるため、「スクラムグッドマナー運動」をはじめ地域へ貢献する活動を子どもたちの手で広げていきます。

(3) 個にきめ細やかに対応する教育環境体制づくりを進めます

特別に支援を要する子や不登校に悩む子など、児童生徒一人ひとりに応じた教育を推進するために、「スクールソーシャルワーカー」の配置など、きめ細やかな指導や支援の充実を図ります。

(4) スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力向上を図ります

子どものよりよい成長は、園・学校教育はもとより、家庭や地域がそれぞれの役割を理解し、責任を果たすことで図られていきます。そのため本市では、相互の教育力を相乗的に高めるコミュニティ・スクールの御前崎版となる「スクラムスクール運営協議会」を推進していきます。

Ⅲ 御前崎市牧之原市学校組合教育委員会の自己点検及び評価

今回教育委員会の自己点検・評価について報告書をまとめるにあたり、教育委員会が行っている大項目1、2、3について自己点検評価シートにまとめました。

なお、「スクラム御前崎」に掲げる主要施策のうち、(1)は大項目1に含むものとして、(2)から(7)までは大項目3で点検・評価を行いました。

御前崎市牧之原市学校組合 教育委員会の 自己点検・評価シート	実現度	3			◎3段階評価とし、以下の達成状況により評価しています。 ○実現度 3…達成またはほぼ達成している(概ね80%以上) # 2…概ね達成している(概ね40%超～80%未満) # 1…達成していない(概ね40%以下) ○重要度も上記に準じて評価しています。
		2			
		1	2	3	
					重要度

大項目1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点 検 ・ (評 価)												
(1) スクラムプラン で推進する教育委員会	①御前崎の教育の推進をするため、教育委員の研修を深めます。	実現度	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			■							重要度	○常葉大学教育学部堀井啓幸教授の紹介により、富山県富山市立堀川小学校、芝園小・中学校を訪問。独自のワーク方式による学びの実感がある授業や、自発を促すための工夫された環境構成について視察し、魅力ある授業づくり、環境づくりについて、学校訪問や園長会などを通じて紹介し、今後の御前崎の教育の重要課題とした。
			■											
	②常に実態・課題把握に努め、御前崎の教育の推進を図ります。	実現度	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>			■							重要度	○教育委員会の施策について審議するため、定例会を毎月1回計12回開催し、市の教育の充実に向けて活発な議論を行った。また、委員会終了後、委員のみで研修を行い、課題について深めている。
		■												
③園・学校・施設での移動教育委員会を行います。	実現度	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr></table>									■	重要度	○町内会長総代を対象とした移動教育委員会を開催し、日頃感じている子どもたちや家庭、地域の様子について意見交換を行った。地域を巻きこんでいくために、スクラムの発信がさらに必要であることがわかった。今年度は1回開催。	
		■												
④教職員同士で語り合う会、子供が語り合う会、社会教育委員会、公民館長会など語り合う会を開催します。	実現度	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr></table>									■	重要度	○社会教育委員会を6回、公民館長会議を2回開催し、情報交換を行った。教職員同士や子供同士が日頃感じていることや夢を語り合うことを通じて交流を深めたり、自己を高めたりして更にスクラムの推進を図ろうとしたが、教員や子供が語り合う会は実施できなかった。スクラムスクール運営協議会を通して少しずつ地域を巻きこんだ教育の実現に向かっているが、まだ十分にスクラムが行き渡っていない。地域を巻きこむ手だてが必要である。	
		■												
⑤御前崎の教育を広く発信します。	実現度	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>■</td></tr></table>									■	重要度	○「スクラム御前崎」を関係機関等に配付し、御前崎市の教育について広報したが、ホームページ開設や教育委員会だより等の発行に至っていない。地元新聞記者と定例の懇談会を実施している。	
		■												

(1) スクラムプラン で推進する教 育委員会	⑥教育委員会と首 長との意見交換会 の実施	実現度 <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度			■							<p>○3回開催された「総合教育会議」において、1.「御前崎市教育振興基本計画（大綱）について」、2.「御前崎市のスクラム教育について」、3.「子ども子育て支援条例について」市長と意見交換を行い、行政執行部との意思統一を図った。</p> <p>○毎月1回の経営者会議において、市長と教育長との連絡を密にし、市長に教育委員会の考えが常に伝わるよう努めた。</p>
			■									
⑦研修会への参加 状況	実現度 <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度			■							<p>○県主催の研修会や研究協議会等に積極的に参加し、新学習指導要領に向けての文科省の動向や論点整理など教育情報の収集に努め、大変参考になった。</p>	
		■										
⑧ 園・学校訪問	実現度 <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度			■							<p>○小・中学校は年2回、幼・保・こども園は年1回、全校全園を訪問した。本年度から、園や学校の概要説明を短くし、懇談会の時間を多く持つようにした。保育や授業の参観を通して見えた成果や課題を関係者と話し合った。園や学校のがんばりを認めるとともに、課題に対しては助言し、解決に努めた。</p> <p>○入学式、運動会などの園・学校行事にも、全委員が積極的に参加した。</p>	
		■										
⑨ 所管施設の訪問	実現度 <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度		■								<p>○教育委員会としての施設の訪問は行わなかったが、各委員がそれぞれの施設を日々利用することで情報を得ている。</p>	
	■											

大項目2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	小項目	件数	点 検
(1)	幼児教育、学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めること。	1	○御前崎市教育委員会の主要施策を「スクラム御前崎」としてまとめ、教育委員会に諮り決定した。
(2)	学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること。	0	
(3)	果費負担教職員の懲戒及び校長の任免その他の進退について内申すること。	1	○教職員人事について内申を行った。
(4)	果費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。	0	
(5)	前2項目に定めるもののほか、人事の一般方針を定めること及び懲戒を行うこと。	0	
(6)	果費負担教職員以外の校長、公民館長及び図書館長の任免を行うこと。	0	
(7)	教育長並びに教育委員会事務局職員の任免を行うこと。	1	○教育委員会採用職員の採用・退職について決定を行った。
(8)	学校、公民館及び図書館の敷地を選定すること。	0	
(9)	教育委員会規則等の制定又は改廃について審議すること。	4	○御前崎市教育委員会退職者の再就職に関する取扱要綱の新規制定 ○御前崎市牧之原市学校組合教育委員会退職者の再就職に関する取扱要綱の新規制定 ○御前崎市立小中学校管理規則の一部改正 ○御前崎市牧之原市学校組合立中学校管理規則の一部改正 について審議した。
(10)	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。	3	○平成28年度9月補正予算案(8月) ○平成28年度2月補正予算案(2月) ○平成29年度当初予算案(2月) について具申した。
(11)	社会教育委員、公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。	3	○社会教育委員に7名、公民館運営審議会委員に25名、図書館協議会委員に5名を任命・委嘱した。
(12)	校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。	1	○校長会、教頭会、教務主任者会、生徒指導主事・主任会等各研修会の計画について検討し、実施した。
(13)	学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。	0	
(14)	教科用図書の採択に関すること。	1	○平成28年度中学校用教科用図書について審議し、採択した。
(15)	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこと。	1	○平成28年度御前崎市教育委員会の活動及び事務について点検・評価を行った。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>①これからの時代に必要な資質・能力の育成を図ります。</p>	<p>実現度 小</p> <table border="1" data-bbox="628 170 817 309"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>-> 重要度</p> <p>実現度 小</p> <table border="1" data-bbox="628 586 817 725"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>-> 重要度</p> <p>実現度 小</p> <table border="1" data-bbox="628 909 817 1048"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> </table> <p>-> 重要度</p>						■									■												■	<p>(1) スクラム研究会 (2) スクラムゼミナール ○スクラム研究会を10月4日に実施した。中学校の事前研に小学校職員が参加し、小中の接続を意識した授業展開を協議したり、池新田高校職員の事後研での発言でスクラムの大切さを実感したりするなど成果が上がっている。次年度は、スクラムゼミナールとさらに連動し「子どもが主体的に思考を働かせる授業」のイメージを共有するため、意図を持った授業公開や協議が深まる事後研修会の持ち方を工夫する。</p> <p>(3)～(7)計画どおりに実施し、成果を上げることができた。</p> <p>(8) 各種研修会 ○各種研修会を年間計画に位置付け「スクラム教育」の浸透が図られるように実施してきた。各種研修会実施における目標を明確にし、目標を達成するための手立てや達成状況を学校教育課内でさらに共有していく必要がある。</p> <p>(10)「防災教育」「キャリア教育」 ○園小中が連携した引き渡し訓練の実施による課題が明らかになった。保護者に理解を求めさらに現実的な訓練へと進化させていく。本年度からエネルギー教育カリキュラムづくりを開始した。3年計画で、理科・社会・技術科におけるエネルギー教育を体系化する。電源立地市の市民としてエネルギーについての知識や理解、さらには今後のエネルギーについて考えることができるカリキュラムの作成を目指す。</p>
		■																												
		■																												
		■																												

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>②心と体づくりを推進します。</p>	<p>実現度 ↑ ↓</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(1) スクラムグッドマナー運動 ○毎月10日に行われるスクラムグッドマナー運動は、各園・学校で工夫された挨拶運動が行われている。保護者・地域・高校の協力も得られ、広がりを見せている。「あいさつで つくろうスクラム 地域と共に」のスローガンの目標を達成するための活動や小・中学生の話し合いなどを支援していく。</p> <p>(4) 情報モラル学習（ネットバトロール） ○学校では見えない部分がネットバトロールで見える化されている。生徒の実態の把握に努め、ネット被害を事前に食い止めていく</p>
	<p>③個にきめ細やかに対応する教育環境体制作りを進めます。</p>	<p>実現度 ↑ ↓</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(2) 「学習支援員等」の配置 ○今年度から常勤の学校司書を1名増員し、2名の学校司書が分担して全小中学校を巡回するようにした。これにより書架の整理が進み、廃棄・選書が適正に行われるようになった。御前崎中では、図書コーナーも刷新され、読書に親しむ生徒が増えた。また、校内の空きスペースに、新刊本の紹介コーナーや季節や学期に適應した図書掲示コーナーが設置され、読書環境が整った。次年度より学校教育課主催の図書館担当者会を実施し、読書活動充実に努める。</p>
		<p>実現度 ↑ ↓</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: black;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→ 重要度</p>										<p>(8) 適応指導教室「サンルーム」 ○「サンルーム」には13名(御前崎中生は5名)の児童生徒が入級し、指導を受けている。指導の充実を目指し、指導員1名の増員を図る。また、SCやSSWとの連携をサンルーム連絡会を通して強化していく。</p>

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

<p>(施策3) これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育</p>	<p>④スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力向上を図ります。</p>	<p>実現度 ↑ ↓</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px; background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">→ 重要度</p>										<p>(1)スクラムスクール運営協議会 ○地域と一体となった学校運営を実現させるために、昨年度スタートした「スクラムスクール運営協議会」（コミュニティスクール）を本年度は年6回開催した。スクラムグッドマナー運動は、生徒会を中心に盛り上がりを見せ、PTAも参加している。地域の教育力向上のため、組織の確立と具体的な目標を設定し、協議の充実を図ると共に、活動の実践化へとつなげていく。</p> <p>(2)学校支援地域本部 ○学校支援地域本部の活動の充実を目指し「学校支援ボランティア交流集会」を行った。ボランティア本来の意味を再確認し、自身の活動の仕方を見直したり、それぞれの活動の価値を自覚したりすることができた。さらに拡大を図り、キャリア教育の推進を図る。</p>

※スクラム・スクール・プラン(SSP)：保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、高校を「1つの学校」ととらえることを基本として、園、学校、地域、行政がスクラム(相互理解、観の共有)を組んで、「とぎれない教育」の実現を目指す。

※SSP推進委員会：主幹教諭、教務主任、副園長で構成され、スクラム・スクール・プランの推進、各事業運営のサポートを行う。

※スクラムスクール運営協議会：学校運営協議会の御前崎版として、保護者や地域の人へのスクラム・スクール・プランについての理解の促進及び地域を巻き込んだ教育の実現に向け話し合う組織。中学校区単位で、学識経験者、地域代表者、園長、学校長で構成される。

※スクラムグッドマナー：豊かな心と思いやりのある心を育てることを目的に、「やさしく はなそうよ きこえるよ ありがとう」を合言葉として、市民のグッドマナーづくりを子どもたちが率先して進めていく。

IV 学識経験者の意見

1. 大項目1 教育委員会の活動

あらゆるところでスクラムという単語を聞き、「御前崎の教育」についての情報発信の実現度が高いと感じている。情報発信に関しては、専属職員を常駐するくらいのつもりでないと、なかなか更新はできない。難しい問題ですが、ぜひ強い気持ちで取り組んでいただきたい。

2. 大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

これからの社会を生き抜くための資質・能力の育成を図る学校教育

子どもたちがどんな形でスクラム・スクール・プランに携わってきたのか気になりました。やらされているという気持ちではなく、自ら必要性を感じ取り組むことが大切です。「挨拶は気持ちの良いものだ」ということが浸透できていれば、挨拶が自然とできるのだと思います。それが大人であっても、子どもであってもそういったところが出てくるのだろうと思うので、そのような話し合いをする機会を大事にしていきたい。

V 総合評価

1 大項目ごとの評価

「大項目1 教育委員会の活動」について

御前崎市教育委員会が打ち出す施策の中心に、スクラムプランが体系的に位置付いており、教育委員会の活動の大きな柱になっている。教育委員会の施策方針の明確化や多様な施策の体系的推進が必要とされる中で、スクラムプランを柱に、教育委員会が一貫して取り組む姿勢は、他市には見られない特徴といえる。

中項目(1)の①②⑥⑦⑧は、重要度も実現度も高く成果を上げている。特に、①⑦の教育委員の研修および情報収集活動に関しては、例年意欲的な取組がなされている。また、昨年度から発足した⑥の総合教育会議については、市長と教育長の連携を強化するとともに、教育振興基本計画の推進につながっている。

一方、⑤の教育委員会および教育施策等に関する広報活動については、一層の工夫が必要とされるとともに、ホームページの開設など、今後の課題が残されている。

「大項目2 教育委員会が管理・執行する事務」について

教育委員会が管理・執行する事務については、主要施策が「スクラム御前崎」として明確化されており、全体として円滑な管理・執行が行われている。今後も、御前崎市教育のさらなる発展につなげていくために、スクラムプランの体系化とその実現状況との関連を踏まえ、一層有効な管理・執行に配慮して頂きたい。

「大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について

御前崎市ならではの取組である灯台村塾、マリンスポーツ関係の施策が成果を上げている。小・中、中・高を対象としたスクラム研究会をはじめ、各種研修会の実施など、教員の資質向上への取組が行われている。また、「しおかぜ先生」や学習支援員の配置、適応指導教室「サンルーム」の指導など、児童生徒の状況に対応したきめ細かな指導がなされている。さらに、スクラムカレンダーの配布、スクラムスクール運営協議会、学校支援地域本部、シニアスクールなど学校・地域との連携を強化する事業が多面的に行われており、御前崎市の特色になっている。今後も、御前崎市教育委員会の主要施策を踏まえ、地域の特色を生かした創意工夫のある取組みを推進していくことが期待される。

2 全体についての総合的評価

御前崎市教育委員会の活動全体として、御前崎市の自然・文化・伝統を生かした教育施策が、スクラムプランを柱にして体系付けられている。一つの理念を中核にして、各種の教育施策が体系化されていることは他市の教育委員会に見られない特色といえる。今後については、実現度の低い項目の原因を明らかにするとともに改善を図る必要がある。

今後に向けた留意点として、次の点が挙げられる。

- ①教育委員会の活動に関する広報・HP開設、家庭・地域との一層の連携、社会教育および図書館活動の推進、ICT環境の充実などについて、今後もスクラムプランの教育施策と連動させて推進することによって総合的に成果が上がるよう図ることが重要である。
- ②地域文化財の保護や文化活動の継承については、その重要性和価値に鑑み、今後も一層充実させていくことが重要である。御前崎市の特色ある自然・文化・伝統などが、学校教育において今後も有意義に活用されることが望まれる。
- ③スクラムカレンダーのようなアイデアが、市民や地域の自主的な取組として、学校と地域の連携を強めるために生かされるよう配慮することが重要である。
- ④防災教育については、現状でも相当な努力がなされているものの、御前崎市の地理的な状況から、今後は復興教育にも配慮した取組が必要である。

「スクラム」についてのアンケート調査結果 (御前崎市教育委員会自己点検評価に伴う外部評価)

- 実施日：平成29年2月
- 調査対象：市内小学校5校、中学校2校、幼稚園3園、保育園2園、こども園3園
に勤務する教職員、保育士、幼稚園教諭
公民館長、社会教育委員、スクラムスクール運営協議会員、
教育委員会職員
- 依頼数：341人
- 回収数：284人（回収率83.3%）
- 質問項目

【質問1】

基本目標「郷土を愛し、未来を創る人づくり」を目指し、御前崎の教育を「スクラム」で推進していることをあなたは知っていますか。

【質問2】（質問1で①十分知っている、②知っていると答えた方に）

キーワード「スクラム」の意味や意義について、どれくらい理解されていますか。

【質問3】

御前崎の人づくりにスクラムの成果が出ていると思いますか。

【質問4】（質問3で①十分成果があった、②成果が出ていると答えた方に）

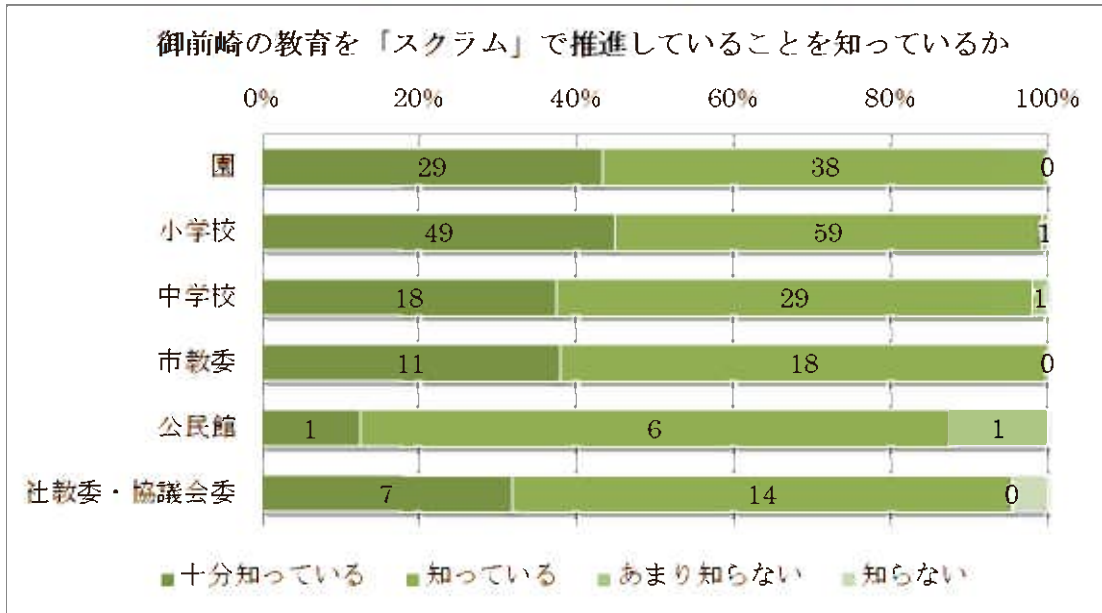
具体的にどんな成果があったと思われますか。

【質問5】

御前崎の教育をスクラムで推進するにあたり、今後の工夫や改善点があったら書いてください。その他ご意見がありましたら書いてください。

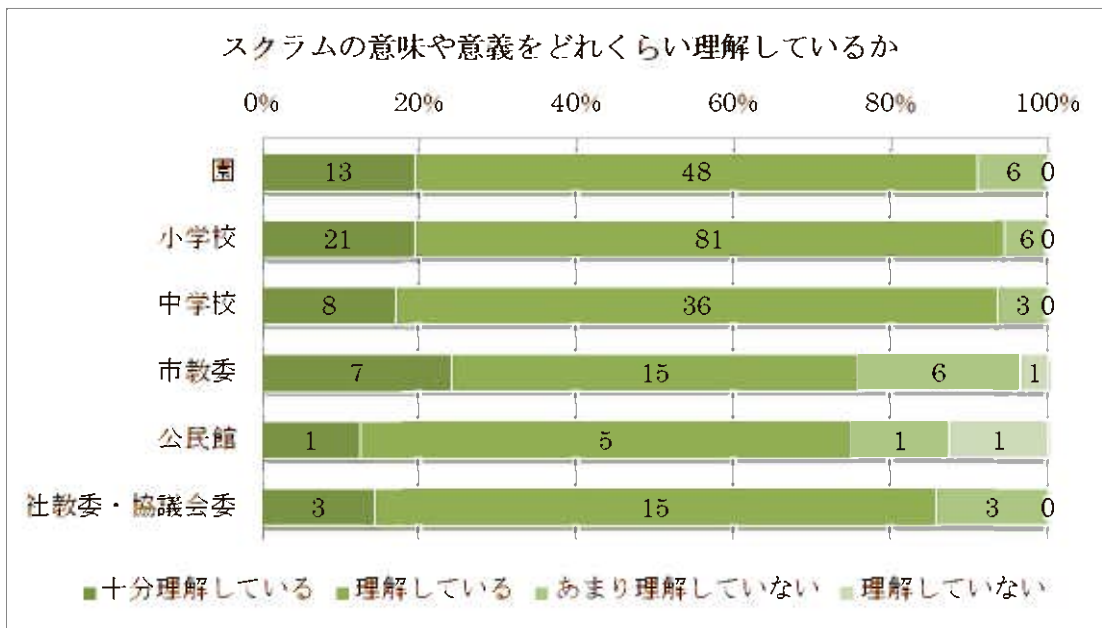
【質問1】

基本目標「郷土を愛し、未来を創る人づくり」を目指し、御前崎の教育を「スクラム」で推進していることをあなたは知っていますか。



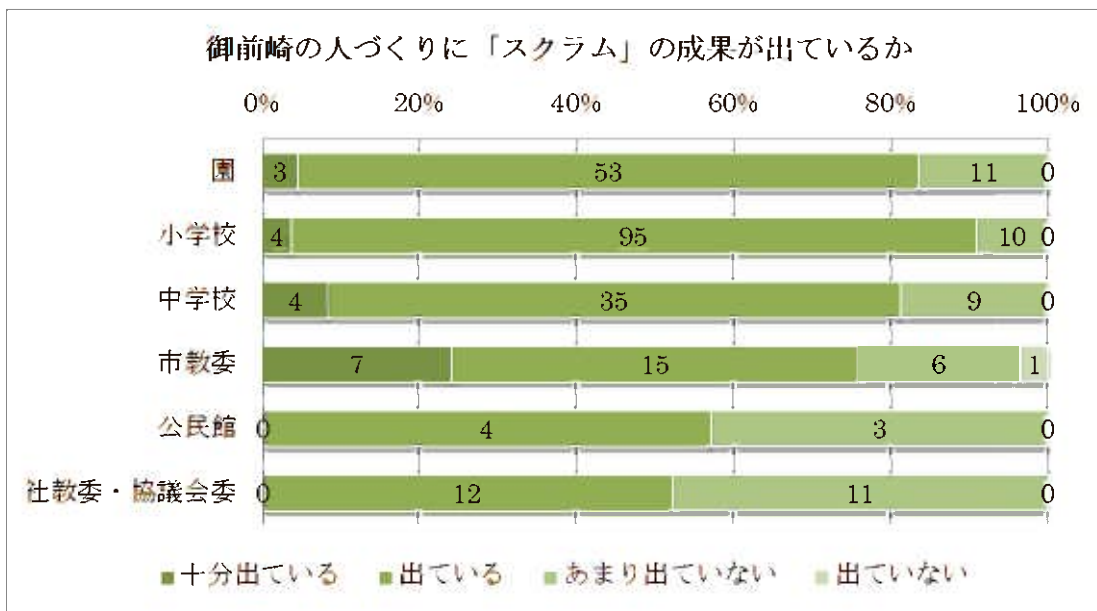
【質問2】 (質問1で①十分知っている、②知っていると答えた方に)

キーワード「スクラム」の意味や意義について、どれくらい理解されていますか。



【質問3】

御前崎の人づくりにスクラムの成果が出ていると思いますか。



【質問4】（質問3で①十分成果があった、②成果が出ていると答えた方に）

具体的にどんな成果があったと思われますか

教職員

①スクラムスクールプランについて

- 御前崎市の教育が市として一つの方向に向かっていることで、公開保育、公開授業を通してより深く研修できている。
- 「スクラム」という共通の目的意識を持ち、研修会や会議の場で顔を合わせる機会が多くなったことで、以前よりも園小中高の先生同士が繋がっている。
- 中学校の問題を知ることで、他人事ではなく、「だから今何が大事なのか」職員や保護者と話し合うことにつながった。
- 園小中高の職員が子供について話ができる機会があり、御前崎の子供をどんな子にしたいか共通理解できるようになってきた。
- 教職員の子ども観、授業観などがそろってきていることを授業公開や話し合いから感じる。生徒指導上の指導場面でもこれまで以上に同一歩調で働きかけができていたため、保護者の理解が得られやすい。
- 園小中高と一緒に研修する機会が増えたため、将来を見据えて互いに連携しながら教育活動に当たっていると感じられる。
- 園で学んできたこと、中学校で大事にしていることを知りながら活動していくことで、小学校での積み重ねや中学校を意識した生徒指導、授業づくりを目指しやすくなった。また子どもたちにもきちんとそのことを伝えられるようになった。
- 中学校として、小学校との交流が増えたことによる授業改善が一番の成果である。授業案検討が大

変勉強になる。

- スクラムを組み、連携を図ることで小学校で頑張ってきたものを中学校で崩さないように意識できるようになった。
- スクラム研修会で、園小中高の教職員が意見交換することで、よりよい指導を考えるきっかけができてきている。

全般から

- 地域の方との話し合いで、「御前崎はスクラムでやっているよね。」という話題がしばしばでてくるようになってきている。
- あいさつ運動などで、小中、高校で一緒に活動し、それを地域の方々が認めてくださっているように感じる。
- 子供の下校時間に合わせて散歩しているが、出会う子のあいさつが以前よりかなりよくなってきている。
- 挨拶運動が中心だが、中学生が小学校へ出向いたり、活発に活動してくれて、保護者も参加が多くなり意識されている。
- 園小中高が子供の言葉に同じ方向で挨拶運動を始めたことは第一歩。
- 地域の方と顔見知りになり、子どもたちの活動の場が広がっている。
- スクラムカレンダーができて、行事や催しなどの把握ができるようになった。
- 地域住民まで浸透しているとは思えないが、生徒児童の中にスクラムの意味や意義を理解していることが確実に増え始め、10日の活動参加人数が増え始めている。カレンダーができたのも素晴らしい。
- 挨拶を通して今までよりいろいろな方々と顔見知りになった。スクラムを通じて各立場の方々の思いを共有できた。

【質問5】御前崎の教育を推進するに当たり、今後の工夫や完全点があったら書

いてください。その他ご意見がありましたら書いてください。

- 地域や保護者にスクラムが十分行き渡っていない。
- 市内外に情報発信することが必要である。
- カレンダーづくりなどを通して、地域に広めていくことが大切だと思う。
- 家庭、地域のスクラムが少ないので、もっと地域にアピールしてほしい。
- 具体的にやっていることをもっと多くの人にPRしてほしい。
- 家庭環境、経済状況、地域環境等が異なる中で、画一的に述べることは大変難しく、特効薬はみつからないが、この運動を地道に継続していく中で育った子どもたちが、10年先、20年先に我が子に地域の子どもたちに今度は支援する立場になるときを楽しみにしたい。運動の裾野は確実に広がっていくと思う。